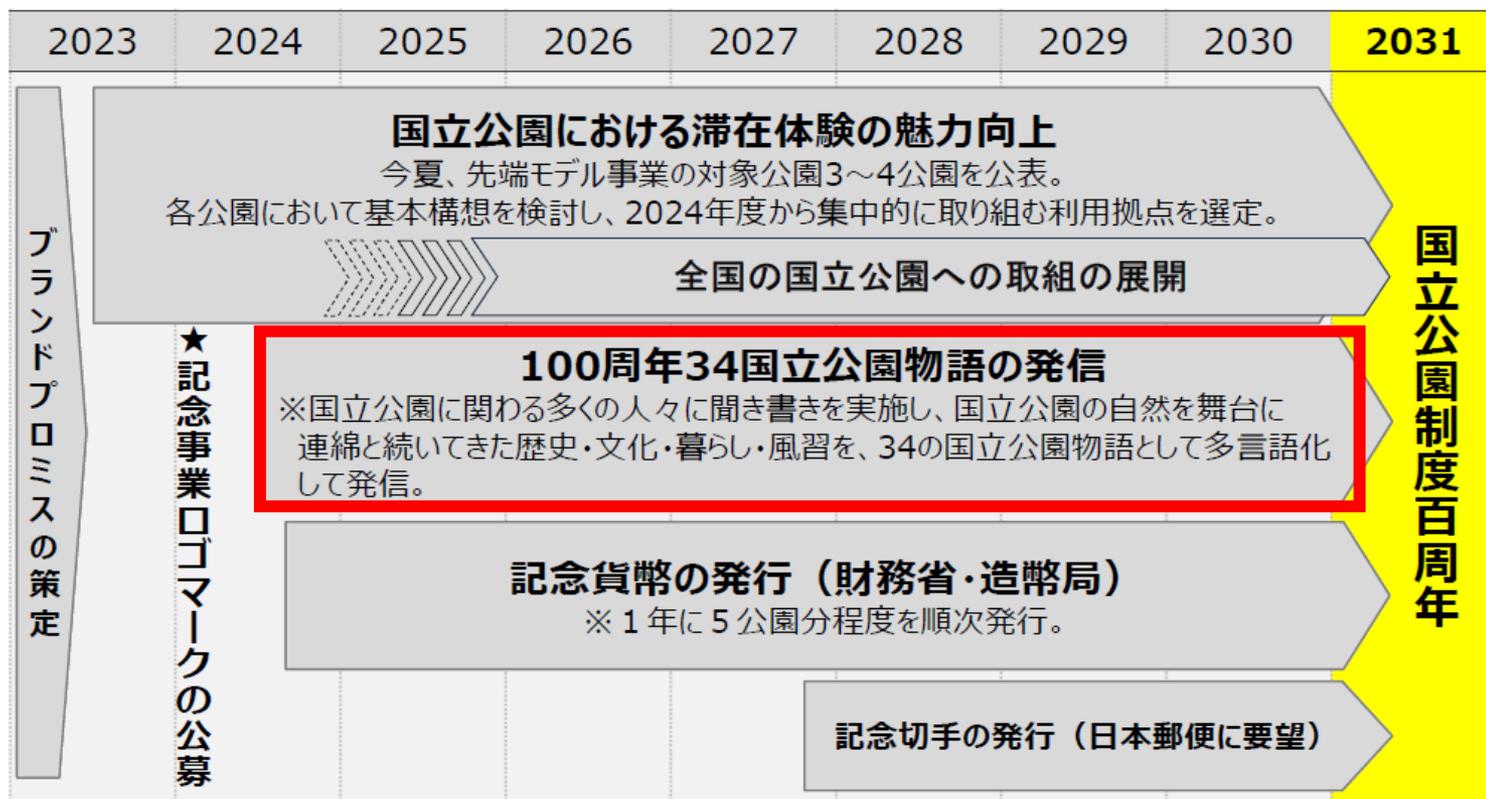


次の世代、次の100年に
しっかり引き継いでいくために。



1. 国立公園制度100周年記念事業

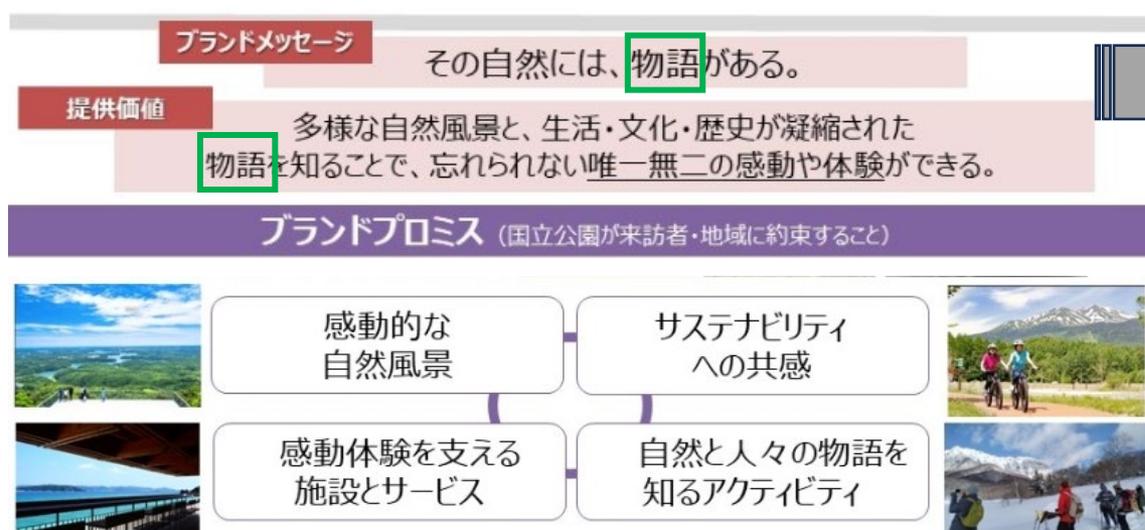
自然公園法の前身である国立公園法制定の1931年（昭和6年）から100周年を迎える2031年（令和13年）に向けて、我が国の傑出した自然の風景地であり、生物多様性保全の屋台骨である国立公園について、次の100年も守り・楽しみ、国民全体が愛着と責任を持って支えていくための機会を継続的に創出する。



令和5年8月4日（金） 新時代のインバウンド拡大アクションプラン推進会合@総理大臣官邸 環境省資料

2. 「国立公園ものがたり」の意義

● 国立公園のブランドプロミス



それぞれの国立公園独自の物語を**聞き書き**という手法で可視化し記録に残す



● 「国立公園ものがたり」により

- ✓ 地域及び次世代に物語が浸透
- ✓ 国立公園に対するブランド意識の醸成
- ✓ 来訪者の感動や学びの深まり

インナーブランディングに寄与



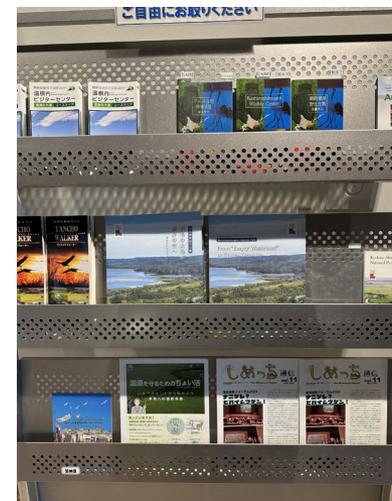
4. 活用状況

● 国立公園関係地域内の以下の施設等に冊子を配架

- ・ 国立公園ビジターセンター
- ・ 公共施設（役所、図書館など）
- ・ 駅、空港
- ・ 観光、宿泊関係施設

その他

- ・ 地域の次世代向けに学校等の教育施設での活用
- ・ 地元メディアへの配布、記者説明会の実施など



国立公園ものがたり特設サイトでは、それぞれの冊子のPDF版や動画を閲覧可能

釧路湿原国立公園

本誌の舞台は、日本最大の湿原と壮大な蛇行河川で知られる釧路湿原です。釧路湿原は1987年に国立公園に指定されました。広大な湿原の歴史は約2万年前に始まります。そこから長い年月をかけて海はやがて湿地となり、いくつかの湖沼ができあがり、現在の姿が形づくられました。

釧路湿原には、地域の人に「ヤチ」と呼ばれ、不毛の大地として扱われていた時代がありました。高度経済成長期、そんな「ヤチ」には開発議論が浮上ります。しかし、湿原の価値に気づき、湿原の保全という道なき道を進んだ人たちがいました。「地域の宝である湿原を守る」という思いと行動は人から人へと伝わり、ラムサール条約湿地の登録、国立公園の指定につながります。本誌にはその思いを広めた人たち、受け継いだ人たち、そしてその思いを未来に向けて形にする人たちの声を集めました。

PDFで読む

動画をみる

不毛の大地が 世界の宝へ

国立公園ものがたり

Stories from the National Parks of Japan
Kushiroshitsugen National Park

From "Empty Wasteland"
to Global Treasure

国立公園ものがたり／釧路湿原 (Stories from the National Parks of Japan: Kushiroshitsugen National Park)

National Parks of Japan
チャンネル登録



5. QRコード

環境省公式HP「国立公園に、行ってみよう！」内
国立公園ものがたり特設サイト

